

## ① 研究課題名：

愛知県感染防止対策加算 1 届出病院\*<sup>1</sup>における多施設 point prevalence survey\*<sup>2</sup>

\*1：感染防止対策について厚生労働大臣が定める施設基準を満たしている病院。

名古屋市立東部医療センターもその施設基準を満たしている病院の 1 つです。

\*2：疫学調査

## ② 研究の目的：

近年、抗菌薬の効きにくい薬剤耐性菌が問題となっており、薬剤耐性菌の発生を防ぐため、国として抗菌薬の適正使用が推し進められています。しかし、感染症に関する専門家が少ないだけでなく、感染症の発生状況や抗微生物薬\*<sup>3</sup>の使用状況等の疫学情報が乏しいために、適正使用が思うように進んでいない現状があります。そこで、愛知県での感染症に関する疫学を明らかにするため、愛知県の感染防止対策加算1病院を対象施設として、感染症の発生状況や抗微生物薬の使用状況、適正な抗微生物薬選択の有無について調査することにしました。さらに、施設間での違いを調べることにより、感染症診療・感染対策の質を向上させることを目的としています。

\*3：病原微生物（細菌、真菌、ウイルス、寄生虫）による感染症治療及び予防に使用される薬剤の総称。抗菌薬以外に抗真菌薬、抗ウイルス薬、抗寄生虫薬があります。

## ③ 研究期間：

西暦 2020 年 3 月 ～ 西暦 2023 年 3 月 31 日

## ④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：名古屋大学大学院医学研究科 臨床感染統御学 教授 八木哲也

研究実施施設：名古屋大学医学部附属病院、愛知医科大学病院、愛知県がんセンター中央病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院、愛知県厚生農業協同組合連合会、豊田厚生病院、あいち小児保健総合センター、旭労災病院、岡崎市民病院、春日井市民病院、刈谷豊田総合病院、公立陶生病院、小牧市民病院、公立西知多総合病院、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、社会福祉法人聖霊会聖霊病院、総合大雄会病院、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター、常滑市民病院、トヨタ記念病院、名古屋掖済会病院、名古屋記念病院、名古屋市立大学病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋市立東部医療センター、名古屋市立西部医療センター、半田市立半田病院

## ⑤ 研究の対象：

西暦 2020 年 3 月 25 日の午前 9 時に名古屋市立西部医療センターに入院している方。ただし、参加辞退を希望する方、新生児で入院扱いができない方、プライバシー設定でカルテ閲覧ができない方、新型コロナウイルス感染症治療のために入院した方を除く。

## ⑥ 調査項目：

対象の方の診療録より、以下 a)b)の情報が収集され、提供されます。

a) 基本情報：入院日、病棟名、入院診療を担当している診療科、年齢、性別、併存疾患（固形腫瘍、血液疾患、造血幹細胞移植の有無）、18 歳以下の方の場合は体重及び月齢

b) 抗微生物薬に関する情報：抗微生物薬使用の有無

さらに、抗微生物薬使用ありの場合、使用目的に応じて以下の情報についても収集されます。

(1) 感染症治療を目的として抗微生物薬を使用された場合

使用された抗微生物薬名、投与方法、使用目的（疾患名）、血液培養検査結果、原因菌と薬剤耐性の有無、院内感染対策チーム（AST：抗菌薬の適正使用を支援する医師、薬剤師、看護師、検査技師等で構成された院内サポートチーム）の関与の有無、留置された人工物（カテーテル、気管挿管/気管切開など）の有無

(2) 手術に伴う感染予防を目的として抗微生物薬を使用された場合

手術名、使用された抗微生物薬名、投与期間、クリニカルパス（入院から退院までの標準的な診療手順）適応の有無、β-ラクタム（抗菌薬の種類の一つ）に対するアレルギーの有無 など

⑦ 研究の方法：

研究責任者/分担者が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を収集し、研究事務局（名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部 助教 森岡悠）から提供されたソフトに入力します。得られた情報はパスワード化して研究事務局へ提供され、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

研究結果は、本研究に参加した病院へフィードバックされ、情報共有されるとともに、学会発表や論文化される予定です。

⑨ 個人情報の保護

研究対象となる方の個人を特定する情報（カルテ番号、氏名、住所など）は全て削除し、カルテ番号とは異なる新たな番号を付番して提供されますので、研究対象となる方の個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（データを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータから参加辞退を希望された方の情報を削除いたします。辞退のお申し出をされた場合であっても、不利益を受けることはありません。ただし、学会発表・論文文化を行った後に参加の辞退を希望された場合、データを削除できない可能性があります。

⑩ 利益相反

本研究は、名古屋大学大学院医学系研究科の運営費交付金により行われます。本研究に係る利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1	感染対策室	秋田 憲志 TEL：052-991-8121（代表）